

分数の四則演算の A4 サイズ 15 問プリントを簡単に作成するエクセルファイル。

問題は乱数を発生させて作るため無限に出題が可能。答えも同時に作成します。問題は帯分数を使うかどうか  
が選べ、単なる偶然による乱数で生成した整数ではなく、必ず約分を行う数を組み合わせて作成されます。また、  
通分では分母同士をかけ合せて解くくせがつかないように最小公倍数を必要とする組み合わせで作問しました。  
加えて、扱う分母の大きさで基本、標準、応用の3段階のレベルが選べます。このファイル1つで分数ドリル1  
冊分の価値があります。ぜひ、試してください。

連絡先 forest\_sirius@hotmail.co.jp

▼作間シート上で設定します

AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>レベル</th> <th>帯分数</th> <th>計算</th> <th>番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本</td> <td>なし</td> <td>たし算</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>								レベル	帯分数	計算	番号	基本	なし	たし算	1				
レベル	帯分数	計算	番号																
基本	なし	たし算	1																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">解答最大値</th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <th>分母</th> <th>分子</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60</td> <td>151</td> <td>151</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>								解答最大値				分母	分子			60	151	151	45
解答最大値																			
分母	分子																		
60	151	151	45																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>2</th> <th>和差</th> <th>積商</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本</td> <td>45</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>標準</td> <td>95</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>応用</td> <td>185</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>								2	和差	積商	基本	45	30	標準	95	45	応用	185	80
2	和差	積商																	
基本	45	30																	
標準	95	45																	
応用	185	80																	

※分母同士をかける通分を除外しています

作問

82

※問題用紙と別に解答用紙も印刷されます

印刷

- (1) レベルを設定します。  
※「基本」は設問の分母が 12 以下、「標準」は 36 以下、「応用」は 60 以下になります。
- (2) 帯分数を「あり」「なし」で設定します。  
※「あり」の場合かなり答えの数が大きくなるのでレベルは「基本」か「標準」が望ましい。
- (3) 計算を「たし算」「ひき算」「かけ算」「わり算」で設定します。
- (4) 番号を設定します。タイトルの末尾に表示されます。
- (5) 作問ボタンを押します。これによりひどく大きな数になる解答を排除します。
- (6) 印刷ボタンをします。表示されているプリントと表示されていない解答の 2 枚が印刷されます。  
※解答は帯分数を仮分数に直す計算と約分の斜線および約分の途中結果が省略されています。

分数のたし算(1)			年	組	番	名前	点
1	$\frac{13}{12} + \frac{5}{8}$	6	$\frac{3}{10} + \frac{3}{2}$	11	$\frac{9}{2} + \frac{7}{8}$		
2	$\frac{5}{6} + \frac{9}{4}$	7	$\frac{11}{2} + \frac{3}{4}$	12	$\frac{6}{5} + \frac{5}{10}$		